

石川県

精神科病院と地域の支援者との顔の見える関係構築と退院支援の強化

石川県では・・・

精神障害者の在宅での生活を支援するため、各地域ごとの精神科病院と訪問看護、介護・福祉サービス事業所等との連携体制を構築し、入院初期から退院に向けた調整や退院後の訪問支援の強化に取り組んでいます。

1 県の基礎情報

石川県

取組内容

【人材育成の取り組み】

- ・H19～H23 精神障害者地域移行研修
- ・H23～相談支援従事者地域移行研修
- ・H24～ピアサポーター養成研修
- ・H27～精神障害者地域療養支援事業
リーダー研修、実地研修

【精神障害者の地域移行の取り組み】

○H19～精神障害者地域生活支援事業
長期在院者の地域移行の推進

- ・H19～H23 地域移行推進員配置
- ・地域体制整備コーディネーター配置
- ・H24～ピアサポーターの養成、配置

○H27～精神障害者地域療養支援事業

在宅生活支援のため、各地域ごとの精神科病院と
訪問看護、介護・福祉サービス事業所等との
連携体制を構築

- ・リーダー研修、訪問支援の実地研修
- ・圏域ごとの連絡会
- ・精神科病院での症例検討会



基本情報

圏域数	4カ所
人口	1,154,343人
精神科病院の数	21病院
精神科病床数	3,789床
入院精神障害者数	3か月未満：694人（20.7%）
	3か月以上1年未満：531人（15.9%）
	1年以上：2,117人（63.3%）
退院率	入院後3か月時点：59.1%
	入院後1年時点：90.8%
相談支援事業所数	一般相談事業所数：55
	特定相談事業所数：85
障害福祉サービスの利用状況	地域移行支援サービス：7人
	地域定着支援サービス：47人
保健所	5カ所
（自立支援）協議会	（人材育成について議論）：相談支援部会 （活動頻度）：5回/年
	（精神障害者の地域移行について議論）： 精神障害者地域療養支援事業検討会 （活動頻度）：2回/年
精神保健福祉審議会	1回/年

※H27年6月時点

2 精神障害者の地域移行推進のための取組概要

H28年度精神障害者地域療養支援事業

〔精神科病院協会に委託3,000千円
地域区保介護総合確保基金対応〕

目的

精神障害者の在宅での生活を支援するため、各地域ごとの精神科病院と訪問看護等との連携体制を構築し、入院初期から退院に向けた調整や、退院後の訪問支援の強化を図る



リーダー研修

集合研修 7月

対象: 精神科病院の医師等、
訪問看護ステーションの
訪問看護師等
内容: 地域支援の意義を学ぶ

実地研修 4月～

対象: 集合研修の終了者、
訪問看護師等
内容: ケア合巻、訪問支援の体験

支援体制検討会(2回) 8月、2月

精神科病院協会、医師会、介護支援専門員、訪問看護、ホームヘルパー、相談支援専門員

現状・課題の把握 地域ごとの調整 研修の企画

南加賀

- 精神科病院
- かかりつけ医
- 訪問看護ステーション
- 介護サービス事業所
- 障害福祉サービス事業所
- 地域包括支援センター
- 市町、保健所

石川中央

- 精神科病院
- 訪問看護ステーション
- 介護サービス事業所
- 障害福祉サービス事業所
- 地域包括支援センター
- 市町、保健所

能登

○精神科病院

能登中部

- かかりつけ医
- 訪問看護ステーション
- 介護サービス事業所
- 障害福祉サービス事業所
- 地域包括支援センター
- 市町、保健所

能登北部

- かかりつけ医
- 訪問看護ステーション
- 介護サービス事業所
- 障害福祉サービス事業所
- 地域包括支援センター
- 市町、保健所

地域ごとに連絡会・研修会を開催(4カ所×3回) 4月～

精神障害者の理解と対応、事例を基にした研修会(区保・介護関係者の顔の見える関係構築)

症例検討会(南加賀、石川中央、能登の精神科病院で実施(8回)) 4月～

参加者: 精神科医、訪問看護師、相談支援事業所等 関係者
内容: 実践に繋がっている具体の症例検討会
高松病院からアドバイザーを派遣

3 精神障害者の地域移行推進のための取組経緯

- 精神障害者地域生活支援事業（H19～）
実施主体：石川県
H19～H23 地域移行推進員の配置
H22～ 地域体制整備コーディネーターの配置
H24～ ピアサポーター養成・派遣
- 精神障害者地域療養支援事業（H27～）（別紙）
実施主体：石川県 精神科病院協会に委託
リーダー研修、実地研修、圏域ごとの連絡会、症例検討会

4 精神障害者の地域移行推進における強みと課題

特徴(強み)

1. 地域のリーダー養成、各圏域での研修に取り組むことによって、各地域の精神科病院、訪問看護、障害福祉事業所等が顔の見える関係作り、地域課題の共有が図られつつある。

課題

1. 地域の連携体制は広がりつつあるが、各地域・精神科病院で入院中から訪問看護等がかかわり、実際に退院支援に結びつく取組みを行うことが課題。

5 精神障害者の地域移行推進のための本年度のスケジュール

今年度の目標

1. リーダー研修、地域の検討会等を引き続き実施し、実際に退院に結びつく取組を行う。

次期(月)	実施内容	担当
H28.4～	連携手帳作成・試行	精神科病院、地域の関係機関 等
H28.6～	地域ごとの連絡会、研修会(各圏域 年3回) 症例検討会 入院中の方の退院を検討	精神科病院、保健所 等 (各圏域) 精神科病院、地域の関係機関
H28.7	リーダー研修 地域支援の手法を学ぶ	県、精神科病院 等
H28.8	支援体制検討会 中間報告、連携手帳について	県、精神科病院、地域の関係機関、市町
H29.2	支援体制検討会 事業の成果と課題のまとめ	

